

# 65 周年記念事業を振り返って

## 札幌・ポートランド姉妹都市提携 65 周年記念プレ事業

ポートランド市との姉妹都市提携 65 周年に向けた機運醸成を図るため 65 周年前年にあたる 2023 年（令和 5 年）に以下のプレ事業が実施されました。

### ○「レッツトーク・イングリッシュ高校生スペシャル2023」

2023 年（令和 5 年）7 月 10 日（月）札幌国際プラザにて、『レッツトーク・イングリッシュ高校生スペシャル 2023』が開催され、日米の高校生の交流が行われました。このイベントには、ポートランド市から夏期研修で札幌を訪れているグラント高校生 20 名と札幌圏の高校生 34 名が参加しました。

アイスブレイク「Never Have I Ever」などで打ち解けたほか、姉妹都市の友好を表現する「ゆるキャラ」を作りました。

参加した高校生からは、「ポートランドや異文化に興味を持つことができて楽しかった」、「お互いの文化を知ることができて有意義だった」などの感想が多く寄せられ、異文化交流のひと時となりました。



「ゆるキャラ」発表



参加者全員集合！

### ○ 共創フォーラムの開催

65 周年に向けた機運醸成と両市の公民連携まちづくりに関する情報交換及び交流の機会として、2023 年（令和 5 年）8 月 2 日、「共創フォーラム（第 20 回）」を開催（主催は一般社団法人都市・地域共創研究所及び札幌市）。ポートランド在住の建築家柳澤恭行氏による「公共空間を活用した不確実性の世界でのウェルネスを模索するポートランドの試み」と題した講演の後、ディスカッションなどが行われました。



フォーラムの様子

### ○ 北海道陶芸会55周年記念展 陶・新時代

概要について 25 ページに掲載。

## ○ ミュージカル映画上映会

ポートランドー札幌姉妹都市協会が、65周年プレ事業と65周年に向けたファンディングを兼ねて、第二次世界大戦中の日系人の強制収容を主題にしたミュージカル映画「ALLEGIANCE」の上映会をポートランド市内で実施しました。

## ○ 北海学園札幌高校のポートランド研修

2023年（令和5年）10月29日から11月18日にかけて北海学園札幌高等学校の生徒が、ホームステイをしながら、ポートランド州立大の研修プログラムを通じ、ボランティア活動などに参加。滞在中はグラント高校の生徒とも交流を行いました。



## ○ 北海学園大学人文学部学生によるポートランド・札幌観光アンバサダー活動（参考）

北海学園大学人文学部では、ポートランド州立大学における語学文化研修参加中である2024年（令和6年）年8月24日にポートランド州立大学キャンパスで行われたファーマーズ・マーケットで学生による札幌観光アンバサダー活動を行いました。当日は、札幌市から提供された札幌観光広報資料とともに、学生が制作した札幌市内観光に関わるGoogleマップにリンクする2次元コードを埋め込んだポストカードをマーケットに訪れる現地の方に配布しました。



また、札幌市内で9月に行われたさっぽろオータムフェストでは、札幌・ポートランド姉妹都市65周年記念ブースにポートランド観光協会のボランティアとして参加し、ポートランド観光を振興する資料の配布のお手伝いをしました。

## 札幌・ポートランド姉妹都市提携 65 周年記念ロゴマークの制作

65 周年を象徴する統一的な記念ロゴを制作するため、ポートランド市内の芸術系大学「Pacific Northwest College of Art (PNCA)」と大学間学術交流協定を結んでいる札幌市立大学デザイン学部の学生にロゴデザインの募集を行ったところ、10 名から作品の提出がありました。

この 10 作品について、市公式ホームページ上で投票を受け付け、投票の結果上位となった 3 作品の中から、ポートランド市、ポートランドー札幌姉妹都市協会 (PSSCA)、札幌国際プラザ、札幌市の 4 者で協議を行った結果、札幌市立大学デザイン学部人間情報デザインコース 3 年 (当時) 菅野 絢果 (かんの あやか) さんの以下の作品が選ばれました。

このロゴマークをあしらった、バッジ、コースター、サコッシュなどの記念グッズを製作、各種記念事業の装飾などに用いられたほか、両市のクラフトビールの関係者によって作られた 65 周年記念ビールのラベルにも使われました。



### <デザインコンセプト>

「エレガントさ」を意識してデザイン。札幌とポートランドに共通する都市と自然の調和を意識し、札幌のモチーフには「カッコウ」、ポートランドのモチーフには「フッド山」を採用。また、両市のモチーフに星をプラスして、「華やかさ」と両市の未来の「明るさ」をイメージ付けています。

### ○ 投票の概要

#### 【投票期間】

2024 年 (令和 6 年) 3 月 13 日 (水曜日) 14 時 00 分から 3 月 24 日 (日曜日) 17 時 00 分まで

【投票総数】 528 票

#### 【上位となった 3 作品】

|      |      |     |
|------|------|-----|
|      |      |     |
| 119票 | 105票 | 84票 |



## 【表彰式について】

2024 年（令和 6 年）4 月 23 日（火曜日）、65 周年記念ロゴマークのデザインを作成した札幌市立大学デザイン学部人間情報デザインコース 3 年（当時）菅野 絢果（かんの あやか）さんに対する表彰式を実施しました。



表彰式の様子

### ※菅野さんの受賞コメント

「シンプルさにこだわりました。モチーフについて、ポートランドも自然が近くて、フッド山という山が大きな存在なのではないかと思い、札幌のカッコウとともに自然をモチーフにしました。札幌、ポートランドの人にも大事に思ってもらいたい。いろいろな人の目に触れるものを作れたことがうれしいです。」

## ■ 札幌・ポートランド姉妹都市提携 65 周年記念ロゴデザイン候補作品の一覧

|  |                                                                                                                                                                                 |
|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | 札幌市がポートランドに対して姉妹提携都市 30 周年を記念して寄贈した釣鐘をモチーフに、お互いのまちを代表する花であるライラックとバラの紋様をあしらった。成長と交流のイメージをもつピンクを用いて、両者の交友がこれからも続いていくことを印象付けている。                                                   |
|  | 両市の“交わり”をコンセプトとし、両市が交わり合うようなイメージでデザイン。札幌を象徴するスズランの花とポートランドを象徴するバラの花をモチーフとし、2 つが融合したような配置で描き、両市の市旗にある星とダイヤの形や、両市旗に共通するブルー・グリーンのカラーデザインを組み込んでいる。                                  |
|  | 札幌市の鳥であるカッコウと、ポートランドの象徴であるバラを取り入れたデザイン。札幌市とポートランドの市旗に含まれている青色を使い、お互いの市に親しみがあるような配色となっている。カッコウが啜っている黄色いのバラには、花言葉である「友情」「平和」という意味を込めている。                                          |
|  | 2 つの都市が握手をする様子が両都市のつながりを強調。両都市のシンボリック存在の建物や山などをモチーフとし、姉妹都市のロゴであることをアピールしているほか、札幌は赤、ポートランドは青と色を分けることで握手の行為をより分かりやすく引き立てている。                                                      |
|  | ポートランド市のポートランド・ビル入口上部と、札幌市の芸術の森野外美術館に展示されている「ポートランドシア」を共通点として見出し、モチーフの中心としてデザイン。さらに、両市の特徴を表現するため、ポートランド市を象徴する「バラ」と、札幌市を代表する「スズラン」、アクセントとして「カッコウ」を取り入れたデザインとしている。                |
|  | 両市の市旗をモチーフとし、「6」の中心にある六角形は、札幌市の市旗や市章から取り、「5」はポートランド市の市旗にある青いラインをモチーフとしたもの。また、全体的にシンプルな形とし、過去のロゴイメージとは異なる、新たな側面で表現したほか、カラーは両方の市旗に共通する青と緑とした。                                     |
|  | 札幌とポートランドをつなぐもの・類似するものをモチーフとし、両市の街の中心にある公園のトレードマークとして存在する「さっぽろテレビ塔」と「ワシントンスクエア凱旋」、市の花である「ライラック」と「バラ」を取り入れた。中心には開拓使のマークである星を置き、両市が開拓使によって歴史がはじまったことを表現している。                      |
|  | 過去の周年記念ロゴに合わせ、「エレガントさ」を意識してデザイン。札幌とポートランドに共通する都市と自然の調和を意識し、札幌のモチーフには「カッコウ」、ポートランドのモチーフには「フッド山」を採用。また、両市のモチーフに星をプラスして、「華やかさ」と両市の未来の「明るさ」をイメージ付けている。                              |
|  | 65 年もの間、良好な関係を築いている根幹に「つながり」や「親和性」があると考え、札幌市の市章にもなっている六角形とポートランド市の市章にもなっている円を線で結び、両市が近い緯度に位置していることを表現。また、65 から切り抜いた線を表現していることで、線（つながり）と数字を一体化させ、両市のつながりが 65 年続いているということを表現している。 |
|  | 両市が築いてきたこれまでの関係と、これからの未来に築かれていく関係性をコンセプトにデザイン。両市の象徴とされる花のスズランとバラをモチーフとし、花は両市を表し、茎の部分がらせん状に絡み合うことで、本物の姉妹のような強いつながりがあるという意味が込められている。                                              |

## 札幌からポートランドへ

2024年（令和6年）6月、札幌市とポートランド市の姉妹都市提携65周年を祝うため、札幌から36名の記念訪問団がポートランドを訪れました。

現地では、秋元市長とテッド・ウィーラー市長（当時）がお会いし、65年という伝統ある姉妹都市交流のさらなる発展や、今後の経済交流の重要性について意見交換を行ったほか、オレゴン州屈指の祭典である「ローズ・フェスティバル」への参加などを通じ、ポートランドの方々の温かいおもてなしに触れ、交流を深めました。

また、市政の参考となる企業・施設の視察を行いました。今回のポートランド市の訪問では、札幌市が取り組む多文化共生や産業集積に向けた支援等について、多くの知見を得ることができました。



ポートランド市長と

### ○ 訪問団の主なスケジュール

2024年（令和6年）

6月6日（木）

- 在ポートランド日本国総領事表敬訪問
- ポートランド市長表敬訪問
- ポートランド市コミュニティ・市民生活局訪問
- ポートランド市主催姉妹都市連合式典・レセプション出席
- オレゴン日米協会訪問
- IRCO（移民難民コミュニティ組織）訪問
- 在ポートランド領事事務所・ポートランドー札幌姉妹都市協会共同歓迎レセプション出席

6月7日（金）

- コロンビアスポーツウェアカンパニー訪問
- ラムリサーチ訪問
- ビジネスオレゴン（オレゴン州政府経済開発局）訪問
- プロスパー・ポートランド（ポートランド市経済振興局）訪問
- ポートランド日本庭園訪問および同庭園主催レセプション出席

6月8日（土）

- ローズ・フェスティバル参加
- マイ・ピープルズ・マーケット訪問
- ポートランドー札幌姉妹都市協会主催フェアウェルパーティ出席

## ○ 記念訪問団の紹介

訪問団は、経済関係団体、議会訪問団、市長訪問団などで構成されました。滞在中は、ポートランド市の多文化共生施策について学び、さまざまな文化的背景を持つ方々の支援を目的とした物販イベント「マイ・ピープルズ・マーケット」を視察するなど、9つの企業や団体などを訪問、ポートランド市のさまざまな取組を学びました。



コミュニティ・市民生活局との意見交換



オレゴン日米協会を訪問



ラムリサーチ社を訪問



ポートランド日本庭園主催のレセプションに参加



ローズ・フェスティバル「グランド・フローラル・パレード」に参加



マイ・ピープルズ・マーケットの視察





## 札幌からの訪問団受入れにあたって

ポートランドー札幌姉妹都市協会 (PSSCA)

理事 ロビン・ヤング

65年もの間、札幌とポートランドの市民は、文化、教育、ビジネス、そして個人的にも強い関係を築いて協力してきました。札幌とポートランドがこのような市民同士の交流を始めた時、私たちのほとんどはまだ生まれていませんでしたが、65周年のお祝いでは、6月にポートランドで秋元市長をはじめ、札幌市議会議員、地域社会や企業のリーダーのみなさんを歓迎いたしました。

この訪問のハイライトは、ボブズ・レッド・ミル（レストラン）、コロンビアスポーツウェア（スポーツウェアメーカー）、ラムリサーチ（半導体製造装置メーカー）といった地元企業への訪問でした。また、グラント高校も札幌訪問団の方々をお迎えすると共に、秋元市長はポートランドで毎年行われるローズ・パレードにも参加されました。

私たちは、秋元市長がポートランド日本庭園で詠んだ俳句を特にうれしく思いました。その句で秋元市長は、フッド山と富士山が似ているとおっしゃったのです。

PSSCAの比較的新しい理事として、札幌市国際部、札幌国際プラザ、ポートランド市、そしてポートランドー札幌姉妹都市協会の先達の方々の時間と才能がこの特別な絆を作り上げてくれたことに、心より深く感謝申し上げます。



PSSCA主催の夕食会で

中央がヤング氏、その左がPSSCA菊地会長／一番右手が秋元市長



SAYONARA PARTYにて関係者全員で

## ポートランドから札幌へ

2024年（令和6年）9月に、テッド・ウィーラー市長（当時）を団長とする32名のポートランド市訪問団が札幌を訪れました。

ポートランドのビジネスモデルに関心のある市内企業関係者向けのビジネスセミナーを開催し、同市の観光協会やポートランドを創業の地とするコロンビアスポーツウェアジャパンなどが登壇したほか、札幌市民向けのセミナーに、市民訪問団が参加し、親しく膝を交えた交流が行われました。

また、さっぽろオータムフェストにて実りの秋を迎えた北海道・札幌の食を楽しんだほか、GX（グリーン・トランスフォーメーション）や子ども食堂など、札幌市が現在取り組んでいる施策について学びました。

### ■ 札幌での主なスケジュール

|          | 市長訪問団                                                              | 市民訪問団                         |
|----------|--------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 9月26日（木） | ● 札幌市表敬訪問                                                          |                               |
|          | ● GX（グリーン・トランスフォーメーション）<br>施策の説明、水素ステーションの視察など<br>● 65周年記念ビジネスセミナー | ● 日本文化体験<br>● 市内視察            |
|          | ● さっぽろオータムフェスト視察                                                   |                               |
| 9月27日（金） | ● モエレ沼公園視察                                                         |                               |
|          | ● 大倉山ジャンプ競技場、オリンピックミュージアム視察                                        |                               |
|          | ● 姉妹都市提携65周年記念祝賀会                                                  |                               |
| 9月28日（土） | ● 子ども食堂視察                                                          | ● 市民向けセミナー<br>「行ったつもりでポートランド」 |
|          | ● フェアウェルパーティ                                                       |                               |



大倉山ジャンプ競技場での記念撮影



ポートランド市訪問団の代表と



## ○ ポートランド市訪問団の紹介

訪問団の参加者は、テッド・ウィーラー市長をはじめとする市長訪問団、市民訪問団、ポートランドー札幌姉妹都市協会、ポートランド日本庭園、ポートランド観光協会など、総勢 32 名となりました。



ビジネスセミナー



さっぽろオータムフェスト



日本文化体験



姉妹都市提携65周年記念祝賀会



子ども食堂の視察



フェアウェルパーティ



## 札幌での旅の思い出

ポートランドー札幌姉妹都市協会 (PSSCA)

副会長 ジア・ションク

街に着いた瞬間、新たな冒険に出るような感覚を覚えました。誰もが北海道をできる限り満喫しようという熱い期待を共有していました。そのわずか数ヶ月前の6月、ポートランドに日本の代表団を受け入れるという恵まれた機会があったので、初日の朝には多くの見知った顔があって、興奮の再会を果たしました。市長たちもすぐに旧交を温め合い、交わされた言葉はごく型どおりの形式的なご挨拶でしたが、口調は友好的でリラックスしたものになり、互いへの敬愛と喜びにあふれていました。私は、フォーマルな面でもインフォーマルな面でも強い姉妹都市の結びつき、特に個人同士の絆にいつも感謝しています。しっかりと結ばれたつながりの元で、互いを熱烈に擁護し合える存在はかけがえのないものです。



父娘での着付け体験

札幌市では、日本の伝統に触れる機会を次々と与えてくれ、1週間のうちに公式・非公式の事業が詰め込まれていたのも、街の魅力をすべて見て回るのは並大抵のことではありませんでした。

でも、最高の天気恵まれ、大倉山では、高さへの恐怖を忘れるほどその景色に魅了されました！緑に囲まれたスキージャンプ台、さらにジャンプ台頂上からの宝物のような景色を特別に見せていただいたほか、札幌オリンピックミュージアムの中に戻ると、案内してくれたオリンピックが彼のメダルを持たせてくれるなど、札幌の方々の厚いおもてなしの心を改めて示していただきました。

札幌市内観光の表向きの部分を楽しむだけでも十分でしたが、オータムフェストでポートランドのかけらを見つけたり、代表団とは関係のない人々も私たちに特別な配慮をしてくれたりするのを見るにつけ、あらゆる側面で温かいおもてなしを感じました。



大倉山ジャンプ台頂上からの札幌の景色



## この旅は本当に特別な旅でした

ポートランド観光協会  
国際観光部シニア・マネージャー 古川 陽子

ポートランド観光協会（Travel Portland）はポートランド地域の観光促進とコンベンション誘致を通しての経済開発を目的とした非営利組織です。ポートランドにとって、日本からの旅行者は大変重要な位置を占めており、2019年までは海外からのビジター数としては日本が第一位でした。コロナ禍で大幅に落ち込んだ数は、2024年にはコロナ前の約6割までに回復しました。円安やインフレといった逆風に関わらず、日本からポートランドにまず戻ってきていただいたのは、姉妹都市関係、教育旅行関係の方々でした。これも長年にわたる市民交流で築かれた強い絆のおかげに他なりません。

2024年姉妹都市65周年は日米観光交流年でもありました。9月のポートランドから札幌への視察団には、ジェフ・ミラーCEOを始め3名で参加させていただきました。記念の「経済セミナー」ではコロンビアスポーツウェア様とともに参加、ポートランドの観光の現在と将来の展望について紹介させていただき、また札幌の経済界の皆様との貴重な交流機会を設けていただきました。同時に、北海道新聞様のご協力によりテレビ塔下にてポートランド紹介ブースを設け、旅行会社ベルトラ様とともに出展、ポートランドの魅力を発信しました。また、65周年記念ビール販売を通じて、クラフトビールのメッカとしてのポートランドを多くの方々に知っていただけたかと思います。

記念事業後も、2025年の雪まつりでコロンビアスポーツウェア様とともに共同ブースを出展するなど、引き続き札幌でのポートランド観光促進事業を進めてまいりました。札幌市をはじめ、ポートランドー札幌姉妹都市協会の皆様のご尽力に感謝申し上げます。今後とも、両市の強い縁に私どもが少しでも貢献できれば幸いです。



## その他 65 周年関連事業

### ○「レッツトーク・イングリッシュ 学生スペシャル 2024」

札幌国際プラザは 2024 年（令和 6 年）2 月 10 日（土）、札幌市と米国・ポートランド市との姉妹都市提携 65 周年を記念し、札幌とアメリカの学生との交流イベントを開催しました。

このイベントは、2019 年に札幌市立高校とポートランド市グラント高校の相互交流事業に参加し、現在は、ポートランドー札幌姉妹都市協会青年部として、両市の交流事業に携わっているトミー・マイヤーさんが仲間の留学生たちとともに企画したものです。札幌圏の学生 41 名が参加し、ゲームやフリートークなどを通じて、色々な背景を持つ若者が、共に過ごし、お互いを知ることによって、興味や関心を広げる機会となりました。

ポートランドー札幌姉妹都市協会  
トミー・マイヤーさん

2024 年 2 月に札幌を訪れた時、長年お世話になった札幌の皆さんに何か恩返しができればと思いました。ただ、大学生の私にできることは限られています。そこで考えたのが、言語交流の場を作ることでした。以前、短期間英語の先生をした際、多くの生徒が「英語は難しい」「間違えるのが怖い」と口にしていたのを思い出し、日本語が多少できるアメリカ人として、英語を楽しく感じてもらえる場を作りたいと考えました。そこで、札幌国際プラザの皆さんのご協力のもと、高校時代の交換留学で開催した「レッツトーク English」を参考に、英語交流イベントを企画しました。ちょうど大学の友人たちも一緒に札幌を訪れることになっていたため、41 名ほどの札幌の学生と英語で楽しく会話を交わしました。準備や運営には課題もありましたが、参加者が「英語は怖くない」「外国語を通じて楽しく交流できる」と感じてくれたなら嬉しいです。



グループトークの様子



トミー・マイヤーさんによるポートランドの紹介

## ○ 65 周年記念ビール

ポートランドは、アメリカの中でも小規模で独立した醸造所で醸造されるビール、いわゆる「クラフトビール」で有名なまちです。

姉妹都市提携 60 周年の際には、「60 人ビールプロジェクト」として、60 人の有志で構成する委員会が札幌・ポートランド両市のクラフトビール醸造家や醸造所の協力のもと、60 周年記念のコラボレーションビールを醸造・販売しました。

今回の 65 周年においても札幌市内のクラフトビールの関係者に対し、65 周年記念ロゴマーク（8 ページを参照）の活用したビールの製作を呼びかけたところ、米国を中心に輸入クラフトビールを取り扱っているえぞ麦酒株式会社と中央区でクラフトビール醸造所を構える Streetlight Brewing（合同会社札幌醸々）の 2 社に応じていただきました。

えぞ麦酒はポートランドのブルワリーで醸造された 2 種類のビールを、Streetlight Brewing は、醸造責任者がポートランドを訪れて現地で仕込んだビールを輸入し、販売しました。

これらのビールには 65 周年の記念ロゴマークが付けられ、9 月にポートランド市記念訪問団が来札した際に開催した記念祝賀会の会場で参加者に提供されたほか、市内でも販売され、市民に親しまれました。



Streetlight Brewingの  
65周年記念缶ビール



えぞ麦酒の65周年記念缶ビール

## ○「行ったつもりでポートランド ～ お互いのまちの魅力を語ろう～」

2024 年（令和 6 年）9 月 28 日（土）、札幌国際プラザの主催によりポートランド親善訪問団と札幌市民のみなさんとの交流イベント「行ったつもりでポートランド ～ お互いのまちの魅力を語ろう～」を開催しました。

歴史の趣あふれた札幌市資料館で実施されたこのイベントには、ポートランド市訪問団 21 名と札幌市民 33 名が参加し、全員が英語と日本語の両言語を駆使し、言語と文化が交錯し合いながら互いのまちの魅力を知る、楽しい時間となりました。

英語での進行（日本語進行は札幌国際プラザのスタッフ）には、訪問団の一員スコット・ガプティル氏のご協力もいただき、その経験についてこんな感想もいただきました。

### 《 ガプティル氏からのコメント 》

お互いの都市を、そこを故郷とする人々の目や経験を通して学び合う機会へようこそ。

様々な年齢や経験を持つポートランドと札幌の市民たちが歴史的建造物に集まり、姉妹都市提携 65 周年を振り返りつつ、パンフレットにはない、ポートランドと札幌に住んだ経験があるからこそわかる魅力を分かち合いました。少人数のグループで一人一人のユニークな知識を共有することで会話は深まり、たくさんの質問と答えが交わされて、両都市が生き生きとしたものになりました。

過ごした時間は短かったですが、誰もが自分たちのまちの特別さを知って、ぜひまた訪れてほしいという思いを伝え合いました。学生、高齢者、専門家、姉妹都市協会関係者など、それぞれの都市を訪れ、おもてなしを受けた人々が会話を進めてくれて、初めのうちは発言をためらっていた人たちも、最後にはさまざまな話題で会話が弾んでいました。

このようにして、2 つの都市の市民はひとつになるのです。

グループ会話では札幌国際プラザの外国語ボランティアが場を盛り立てるお手伝いもしてくださり、多方面のご協力のおかげで、参加した誰もの心に残る、大変温かな姉妹都市交流となりました。



ジア・ションク氏からポートランドの魅力紹介



MC(ガプティル氏)とションク氏



日英両言語を駆使しての和気あいあいの会話



## ○「ポートランド親善訪問団フェアウェルパーティ」

両市の姉妹都市交流は長年にわたり、市民同士の草の根の交流によって支えられてきました。札幌国際プラザが主催しポートランド親善訪問団の滞在最終日となる 2024 年（令和 6 年）9 月 28 日（土）、両市の市民交流に携わる多くの方々が一堂に会し、これまでの交流を振り返りながら 65 周年という節目を祝いました。市役所 1 階の会場入口には、札幌国際プラザフローラルアートグループによる美しい生け花が展示され、会場を華やかに彩りました。さらに、親善訪問団の滞在中、着物の着付け体験や札幌市時計台の案内などをしてくださった市民ボランティアの皆さんにもご参加いただきました。こうして、多くの方々が一緒に過ごし、交流の輪を広げる貴重なひとときとなりました。

また、6 年ぶりに再開となる「札幌市立高校生ポートランド派遣事業」に参加する高校生 6 名も参加し、ポートランド派遣に向けた意気込みを日本語と英語で発表しました。両市の絆を受け継いでいく若者たちの希望に満ちた言葉に、会場は温かな雰囲気になりました。



ウィーラー前ポートランド市長と日本文化体験ボランティアさん



ウィーラー前ポートランド市長と歓談する  
「札幌市立高校生ポートランド派遣事業」参加生徒

## ○ 日系スーパー「宇和島屋」における北海道(札幌)フェアの開催

姉妹都市提携 60 周年の前年にあたる 2018 年（平成 30 年）7 月に、札幌物産協会とポートランドー札幌姉妹都市協会の連携により、ポートランド近郊の日系スーパー「宇和島屋」にて物産展「Sapporo Food Fair」が開催されました。

以後毎年回を重ね、7 回目を迎えた 2024 年（令和 6 年）11 月の物産展では、姉妹都市提携 65 周年を記念して、札幌物産協会の池田会長のほか、札幌市からは町田副市長が参加するオープニングセレモニーを実施し、在ポートランド領事事務所の吉岡総領事や関係者などとともに鏡割りを行いました。

物産展には、事前の商談会で選定した 39 社 212 品目が各店舗で販売されたほか、事業者による店舗内での実演販売も行われ、多くの来場者でにぎわいました。



オープニングの鏡割りの様子



フェアの様子

## 65 周年記念事業からの広がり

今回の 65 周年記念事業をきっかけにして生まれた新たな取組をご紹介します。

### ○ 株式会社コロンビアスポーツウェアジャパンとの包括連携協定



2024 年（令和 6 年）6 月に、65 周年記念訪問団がポートランド市を訪問した際、秋元市長の視察先の一つとして、創業の地である「ポートランド」と、姉妹都市の「札幌」の 2 つの都市名を合わせたウィンターシューズ「SapLand」（サップランド）を開発するなどのご縁から、コロンビアスポーツウェア本社を視察し、経済的な交流や連携等に関して意見交換を実施しました。

この訪問をきっかけとして、ポートランドに強い結びつきを持つ株式会社コロンビアスポーツウェアジャパンと札幌市が相互に連携した取組について協議がスタートし、持続可能な世界都市さっぽろの実現を目指す包括連携協定を締結することとなりました。

2024 年（令和 6 年）11 月 29 日、札幌市役所において包括連携協定締結式が行われ、秋元市長と株式会社コロンビアスポーツウェアジャパンのラザリ・マッスィモ代表取締役社長との間で下記の連携事項を確認する協定書への署名が行われました。

その後は、「さっぽろ雪まつり」の会場において同社とポートランド観光協会が共同でブースを出展したほか、札幌市青少年山の家におけるアウトドア体験活動などの連携した取組も行われています。

#### 【連携事項】

- (1) 豊かな自然を生かしたアウトドア活動及び自然環境保全の推進に関すること。
- (2) 次世代を担う子どものアウトドア体験や職業体験に関すること。
- (3) 市内山岳地帯の安全安心な環境の保全、活用等に関すること。
- (4) その他アウトドアスポーツ振興や観光振興、地域活性化に関すること。



締結式の様子



ポートランド観光協会とコロンビアのブースの様子